

# 経営比較分析表

長野県 御代田町

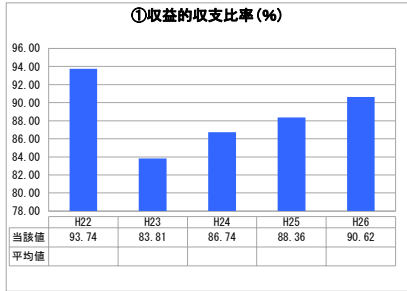
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.71	100.00	4,536

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,455	58.79	262.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
264	0.07	3,771.43

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



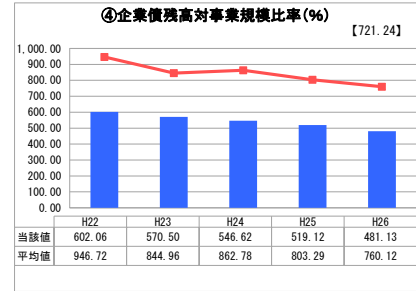
「単年度の収支」



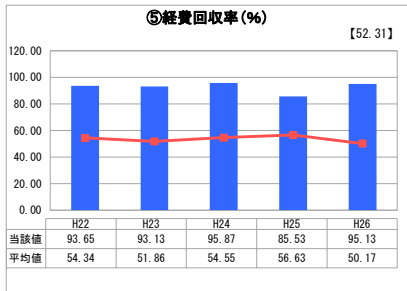
「累積欠損」



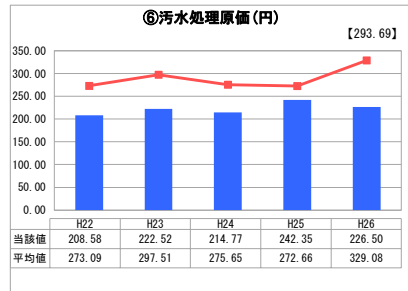
「支払能力」



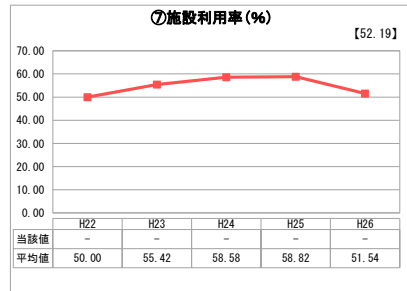
「債務残高」



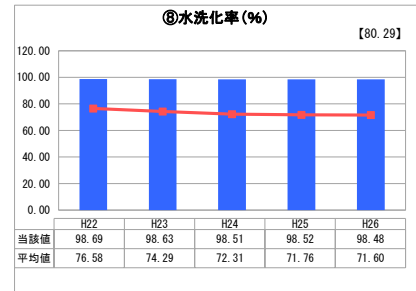
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

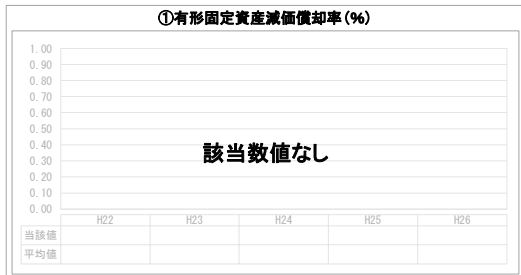


「施設の効率性」

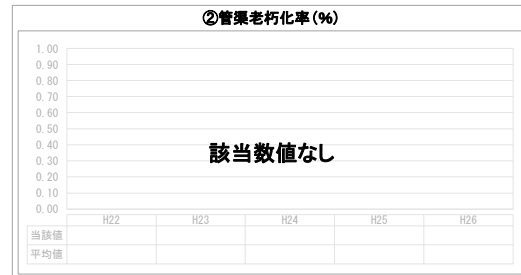


「使用料対象の捕捉」

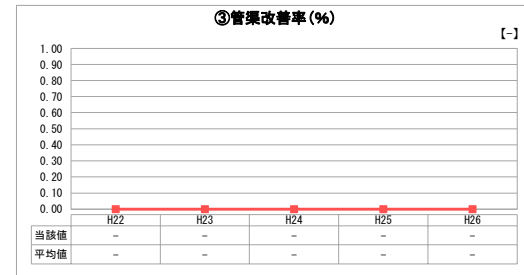
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析概

### 1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率  
一時数値が減少しましたが、この5年間で年々改善しており、現在は90%台になっています。今後、地方債の償還が進むことで数値は改善していく見込みです。
- 企業債残高対事業規模比率  
類似団体の平均値を下回る数値となっています。地方債残高が少ないことが要因であると考えられ、企業債償還が進むことで数値はさらに改善することが見込まれます。
- 経費回収率  
類似団体の平均値との比較でも、高い水準で推移しています。
- 汚水処理原価  
類似団体の平均値より低い水準であり、処理コストが抑えられていると考えられますが、経年比較では変動があるため、今後、維持管理費を抑制していく必要があります。
- 施設利用率  
実績がないため比較検討できません。
- 水洗化率  
水洗化率(接続率)は100%に近い高水準を維持しています。

### 2. 老朽化の状況について

個別排水施設については、定期的な点検作業と状況に応じた修繕を実施することで施設の延命化を図っています。

### 全体総括

個別排水処理事業を今後も継続的に実施するためには、維持管理費の削減、適正な料金設定など総合的に取り組み、経営の健全化・効率化を目指す必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。